

中小学校だより

May 1st, 2018 No. 2

確かな歩みだし どの学年も素晴らしいスタートが切れました

新しい仲間との生活も、はや3週間が過ぎました。職員室に来る子ども達の中には、まだ昨年度の学年を名乗りそうになり、慌てて自分の現在のクラスを名乗る子もいますが、「〇〇室の鍵を取りに来ました」「配布物を取りにきました」「ハリヨ当番です。赤虫をください。」とはきはきと言う姿から、昨年度より1つ上の学年になったという意気込みを感じました。

入学して間もない1年生は、まだ先生が掃除リーダーなのですが、それでも雑巾で前を行く子についてまっすぐ雑巾がけをするなど、自分たちの力で教室や廊下を「だまって掃除」しようとする姿ができつつあります。さすがに2年生は、掃除の時はしゃべりません。掃除開始の音楽が鳴る前から、静かに雑巾がけができています。給食の配膳等の動作もとてもスピーディーなのにも感心しました。そして、学年が上がるにつれて、どんどん静かに掃除ができています。職員室前の廊下を掃除している5年生ともなると、自分達の掃除区域だけでなく、人手の足りなさそうな隣接の掃除場所まで黙々と丁寧に掃除をしています。

そして、登校後の「ボランティアのあふれる中小学校」は今年も健在です。手に手にスコップなどの道具を持って、草取りをしてくれる子、体育館東玄関をほうきで掃除をしてくれる子、そして元気な挨拶で仲間を迎え入れてくれる子、そして仲間のすてきな姿を放送で価値づける姿など、まさに「中小学校らしい姿」であふれています。

去年の6年生から中小学校の伝統としてボランティアと挨拶を引き継ぎました。全校のお手本になりたいという強い気持ちをもって活動をしている6年生は、既に「中小学校の『顔』」となりつつあります。委員会活動でも、決められたことを粛々とやりきるだけでなく、自分達で考えて「こうしていきたいと思うのですが。」と提案していく頼もしい姿も見られました。

どの学年も、次へつながるよいスタートが切れました。これから宿泊研修に向けての取組が始まる高学年だけでなく、それぞれの学年で学習や係活動が本格化します。確かな歩みだしの礎の上に、仲間と関わりながらどれだけ自分の実績を積み重ねられるかが問われる5月です。



授業参観、PTA総会や学級懇談会へのご参加 ありがとうございます

今年度第1回目の授業参観では、お子さんの頑張る姿がたくさん見つけられたでしょうか。どの学級担任も、まだまだ手探り状態ではありますが、フレッシュでやる気で満ちあふれた授業になっていたと思います。また、総会や懇談会にも多数ご参加いただきありがとうございます。

お知らせ

★「特別支援教育コーディネーター」や「教育相談」ってご存知ですか？

子どもの発達に関わって何かお困りごとや心配事があるときに相談窓口となるのが、「特別支援教育コーディネーター」です。中小学校ではたんぼぼ学級担任の在塚久美子先生が特別支援教育コーディネーターです。また、「教育相談」担当は生徒指導主事の茨 勇作先生です。スクールカウンセラーさんとの懇談をコーディネートしてくれます。学級担任を通してでも、直接でも、何か相談したいことができた場合にはお気軽にお声をかけてください。

★いじめ未然防止に関わって

どの子も安心して学校生活を送るために、いじめは絶対に許されるものではありません。いじめ未然防止対策を策定し、全職員で子ども達を見守っていきます。そのための「瑞穂市立中小学校いじめ防止基本方針（骨子）」を配付します。また、ホームページにはお配りしたダイジェスト版ではなく全文が掲載してあります。子ども達の生活の中で何か心配なことがありましたら、遠慮無く学級担任や学校職員にご相談ください。